

鈴鹿スポーツガーデン施設利用促進事業

令和元年度 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）事業報告

令和元年度は、第4期指定管理者の初年度にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が策定した「スポーツ推進計画」に基づき、県営スポーツ施設の役割を果たすとともに、健全な施設運営と県民総スポーツの振興に一層寄与するため諸事業を積極的に推進した。

1 利用の拡大・促進の取り組み

(1) 利用者サービスの向上

- ① 全施設、下記のとおり営業を行った。

施設名	4月～11月	12月～3月
全施設（水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館）	9:00～22:00	9:00～21:00

※令和元年10月1日から令和2年3月14日までサッカー・ラグビー場第3グラウンドは人工芝張替工事のため休業した。

- ② 休業日を原則月1回（8月は無し）とし、7月と12月に3日間集中的にメンテナンスを行うことで開館日数を増やした。また、各施設において大会開催日であっても大会終了後に可能な限り営業時間内で一般開放を行った。
- ③ 大会や専用使用時のスムーズな運営を支援するため、利用に関する事前調整及び営業時間前の特別開場を行った。
- ④ 通常時に来場者アンケートを実施し、施設運営の要望・スポーツ教室等の実施内容について意見を収集した。集約した意見を全職員で検討し、速やかに対応できるものは実行し、施設改修など三重県体育協会グループで対応できない要望については県へ報告した。
- ⑤ 最寄のバス停留所である「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿ぐち」から本施設敷地内へ本協会独自で土曜・日曜・祝日を中心に無料シャトルバスを運行し利用者の利便性の向上に取り組んだ。本年度の利用人数は、合計で1,596人となっている。
- ⑥ 指定管理者として削減した経費は、施設整備及び備品整備を実施して利用者へ還元し、営業努力による収支差について全て修繕に充当して施設の健全維持に取り組んだ。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年2月26日（水）から主催事業であるスポーツ教室を休講した。

(2) 利用促進活動

- ① リピーターに対するサービスの一環として、プール及び体育館トレーニング室で利用できる定期券の販売を行った。
- ② 期間限定サービスの実施
- ア 通常の定期券にはない特典付きのウインターパスポートの販売を行いリピーター率の増加を図った。
- イ 夏休み及び冬休み期間において、通常期は持ち込みが禁止されている浮輪などは、規定の範囲内での持ち込みを許可し、子どもたちが楽しんでプールを利用できる環境を提供した。
- ③ PR活動の実施
- ア 関係自治体に依頼し、イベントスケジュールやスポーツ教室開催等の情報提供を行う

- とともに、スポーツ教室の折り込み広告を行った。
- イ スポーツ指導者講習会及びスポーツ講習会などの一般参加型イベントはホームページや場内に掲出した。
- ウ 施設要覧を作成し、関係機関へ配布した。
- エ 自治体広報への掲載依頼を積極的に行い地域住民への周知に取り組んだ。
- オ 地元地域を中心としたフリーペーパーを活用して情報発信を行った。
- ④ スポーツマンハウス鈴鹿との連携により、大会や合宿などにおける利便性を活かしてスポーツの拠点施設としての利用促進を図った。
- ⑤ 企業の福利厚生施設としての利用として、互助会との提携を行い利便を図った。
- ⑥ シニア層のテニス愛好者の利用拡大と継続利用のため、シニアテニス大会の運営を支援した。
- ⑦ ジュニアテニス選手育成のため、クラス別によるテニスアカデミー教室を通年教室として実施した。
- ⑧ 健康志向によるランニングブームに対応しシニア層や初心者向けの教室を開催した。
- ⑨ 施設 PR 及び新規顧客開拓の一環として、フリーマーケットの開催を行なった。
- ⑩ ウォーキングコースの案内看板を一新し利用者に使いやすい環境を整えるとともに、クロスカントリーコースの整備を行うなどして県民の健康保持増進に向けたサービスの充実を図った。

2 主催事業

(1) ガーデンカップ

本協会加盟の競技団体と連携し、多くの県民が気軽に誰でもが参加できるようガーデンカップを実施した。

- ① ソフトテニス（小学生）
期 日：令和元年8月4日（日）
対 象：小学生
参加人数：17 チーム
- ② ソフトテニス（中学生）
期 日：令和元年8月5日（月）
対 象：中学生
参加人数：200 ペア
- ③ ソフトテニス（高校生）
期 日：令和元年8月2日（金）
対 象：高校生
参加人数：68 校
- ④ ソフトテニス（一般）
期 日：令和元年8月4日（日）
対 象：一般
参加人数：58 ペア
- ⑤ ラグビーフットボール（7人制）
期 日：令和元年8月3日（土）
対 象：大学生、一般
参加人数：56 人
- ⑥ 水泳
期 日：令和元年9月29日（日）

対 象：50m以上の泳力がある者

参加人数：219人

⑦ テニス

期 日：令和2年2月22日（土）23日（日）、29日（土）3月1日（日）

対 象：一般、シニア（45歳以上、55歳以上、65歳以上男子）

参加人数：335人

⑧ フットサル

期 日：令和元年10月22日（火・祝）

対 象：小学生（12歳以下）

参加人数：200人

⑨ サッカー

期 日：令和元年12月8日（日）

対 象：U13

参加人数：220人

（2）スポーツフェスタ'19

競技団体や関係団体の協力を得て施設利用の皆様への感謝とともに更なるスポーツの普及振興を目的として各施設の無料開放、参加型イベント、健康チェックや文化的な催しなどを実施した。

参加者総数：3,371人

期 日：令和元年10月14日（月・祝日）

① 水泳場

施設無料開放、体験会（水球・アーティスティックスイミング・スポーツウェルネス吹矢）、レスキュースイム、タイム測定会、フォーム撮影会、体力測定会、バックヤードツアー、ガーデン迷路、ぶんぶんバウンドボール、教室発表会、アーティスティックスイミングデモンストレーション

② 庭球場

コート無料開放、サーブスアタッカー、テニスアカデミー体験会

③ サッカー・ラグビー場

交流ゲーム（サッカー・タグラグビー）、体験会（フライングディスク、アーチェリー、クライミング）

④ 体育館

卓球・バドミントン及びトレーニング室無料開放、キッズスペース、フリースローゲーム、ミニフリーマーケット、みに縁日、体験会（わたがし作り・ニュースポーツ・プラズマカー・布ぞうり作り・ハロウィン工作作り）

⑤ 全館スタンプラリー

（3）指導者講習会

県内競技力向上の一環として、特定競技の指導者を対象として著名な指導者を招へいし、指導方法及び指導力向上を目的とした講習会を実施した。

① テニス

開催日：令和元年11月2日（土）

競 技：テニス

講 師：植田 実氏（日本テニス協会常務）

内 容：スポーツ指導者講習会

参加人数：44人

(4) スポーツ講習会

スポーツに取り組む機会の提供として、スポーツ講習会を実施した。

① 第1回クライミング体験会

開催日：令和元年5月6日（月・祝）

内 容：クライミングの体験（一般）

参加人数：3人

② 第1回クライミング講習会

開催日：令和元年5月18日（土）、19日（日）

内 容：クライミング講習

参加人数：6人

③ 第2回クライミング体験会

開催日：令和元年9月7日（土）、8日（日）

内 容：クライミングの体験（一般）

参加人数：21人

④ 第2回クライミング講習会

開催日：令和元年9月28日（土）、10月20日（日）

内 容：クライミング講習

参加人数：13人

⑤ 第1回ジュニアクライミング体験会

開催日：令和元年9月7日（土）、8日（日）

内 容：ジュニア体験会

参加人数：33人

⑥ アーチェリー教室

開催日：令和元年5月19日（日）、6月16日（日）、7月28日（日）、8月4日（日）、
9月22日（日）

内 容：アーチェリー体験

参加人数：38人

⑦ トレイルランニング

開催日：令和2年1月5日（日）

講 師：辻 友寛氏

内 容：トレイルランニング講習会

参加人数：28人

(5) スポーツ教室

スポーツガーデン内の各施設を活用して多種多様なスポーツ教室を開催した。

開催講座数：通年講座 356 講座、短期教室 82 講座（合計 438 講座）

延べ参加人数：通年講座 29,784 人、短期教室 4,253 人（合計 34,037 人）

新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年2月26日（水）から主催事業であるスポーツ教室を休講した。

(6) スポーツサークル支援

テニスコートの定期利用者の拡大を目的として、サークルの登録制度を設け、使用料の一括精算制度や継続利用のための環境整備を行うなどサークル活動の支援を行った。

サークル登録数：148 団体

(7) ワンポイントレッスン

入場券のみで参加できる、水泳ワンポイント、水中運動ワンポイントレッスン等を通年で実施した。

- ① 水泳 (25m) : 19回 201人
 - ② 水泳 (50m) : 32回 365人
 - ③ 水中運動 : 15回 176人
 - ④ レスキュースイミング : 6回 21人
 - ⑤ トレーニング : 26回 75人
- (総合計 838人)

(8) 着衣泳体験教室

日本赤十字社と共催による体験教室を実施した。

開催日 : 令和元年6月2日(日)

講師 : 原 正憲氏(日赤)

内容 : 着衣泳講習会

参加者 : 37人

(9) 健康増進事業への協力

三重県と市町が連携して実施している「健康マイレージ制度」(三重とこわか健康マイレージ事業)の普及のために本施設をマイレージ特典協力店に登録し、健康増進事業への協力を努めた。

(10) 初泳ぎ・初打ち

新年1月2日に水泳場並びに体育館にて初泳ぎ・初打ちイベントを開催した。

水泳場 : 初泳ぎ 参加人数 150人

体育館 : 初打ち 参加人数 227人

3 諸会議の開催

(1) 利用調整会議

競技施設として大会等の円滑な運営に向けて、関係競技団体等の参加のもと、使用期日の調整会議を開催した。

水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館 : 令和2年1月22日(水)

(2) 所内会議・主任会議

所内会議・主任会議を原則毎月実施し、年度当初に計画した事業計画進捗度の確認と利用者の皆様から頂戴した苦情・要望に対する対処、施設運営に係る事項について協議した。

4 施設管理

(1) 日常点検

利用者に対して、良質で安全かつ清潔な施設を提供するため、清掃・始業前点検・器具備品点検・施設点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設あるいは器具の使用中止の対応を取り、異常箇所の点検と必要に応じた修理を速やかに行った。

(2) 月次点検

4 施設（水泳場・庭球場・サッカー・ラグビー場・体育館）職員による、月次の設備備品の点検を行い、物品数の確認と正常動作の確認を行った。

5 リスクマネジメント

(1) 消防避難訓練

災害発生時を想定した訓練を6月及び12月の場内整備時に職員・業務委託業者を交えて行った。訓練では火災が発生したと想定し、消火用具を実際に用いて消火活動を行った。器具の使用方法を確認することで、実際の現場で使える技術を習得し、職員全員が危機管理意識の再確認と職員のリスクマネジメントに対する認識を強化した。

(2) 危機管理マニュアルの作成

職員・業務委託業者の緊急時連絡体制の整備及び緊急時・災害発生時に備えるための危機管理マニュアルを改訂し、業務委託事業者を含め全職員に配布し緊急時の対応に備えた。本年度、新型コロナウイルス感染症にかかる対応マニュアルを追加した。

6 施設整備

(1) 県直轄の施設整備として主に下記の補修・改修が実施された。

サッカー・ラグビー場／第3グラウンド人工芝張替
サッカー・ラグビー場／得点ボードLED化

(2) 独自整備として自己財源で備品整備並びに補修・改修工事を実施した。

水泳場/冷風機購入（3台）
水泳場/百葉箱更新
水泳場/サブプールワイアレスシステム修繕
水泳場/メインプール地下ビット鉄蓋修繕
水泳場/メインプール2号ろ過ポンプ修繕
水泳場/空調設備新設に伴う中央監視装置制御取替
水泳場/メインプールオゾン発生装置インバータ修繕
水泳場/サブプールろ過ポンプ整備
水泳場/メインプール滅菌材注入ポンプ交換
水泳場/メインプール遮光ラダー修繕
水泳場/プール地下大型シャッター修繕
水泳場/プールろ過逆洗水ポンプ取替
水泳場/メインプールろ過機自動弁取替
水泳場/飛込プールPAC貯槽取替
庭球場/管理棟空調機器新設
庭球場/シェルターコート投光器交換
庭球場/シェルターコート遮光ネット張替
庭球場/屋外テニスコート人工芝部分修繕
サッカー・ラグビー場/空調機器更新
サッカー・ラグビー場/電動ライン引き機購入
サッカー・ラグビー場/メイングラウンド・第1・第2グラウンド芝張替

体育館/空調機器オイル漏れ修繕
 体育館/ビット排水ポンプ配管修繕

(3) 修繕計画の要望

優先順位を定め県へ施設整備の要望を行うために、中・長期的整備計画を策定した。

7 利用人数及び利用料金収入

年度	施設	利用人数	H30 年度比較	利用料収入	H30 年度比較
H30 年度	水泳場	257,821 人		48,887,930 円	
	庭球場	113,602 人		22,519,000 円	
	サッカー・ラグビー場	124,115 人		14,292,420 円	
	体育館	88,420 人		19,289,520 円	
	合計	583,958 人		104,988,870 円	
R 元年度	水泳場	218,921 人	△38,900 人	49,378,300 円	490,370 円
	庭球場	92,525 人	△21,077 人	20,356,150 円	△2,162,850 円
	サッカー・ラグビー場	110,059 人	△14,056 人	9,988,740 円	△4,303,680 円
	体育館	76,112 人	△12,308 人	17,318,660 円	△1,970,860 円
	合計	497,617 人	△86,341 人	97,041,850 円	△7,947,020 円

◎スポーツガーデンの利用増減及び収支説明

令和元年度は世界規模で感染が拡大した新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年2月26日からトレーニング室の閉鎖並びにスポーツ教室を休講した。さらに、令和2年3月以降新型コロナウイルス感染症の一層の拡大により各施設で予定されていた大会がすべて中止となった。これにより本年度の利用人数・利用料収入共に前年度を下回ることとなった。利用料収入減の他の要因としては、令和3年度に開催される三重とこわか国体・三重とこわか大会に向けた選手強化合宿に対して三重県体育協会の事業の一環で施設利用料を全額免除したことや、サッカー・ラグビー場の第3グラウンドの人工芝張替工事に伴う利用中止が考えられる。

このような状況の中で水泳場の利用料収入が増加しているのは、平成30年度に実施されたプール水の入替とろ過装置更新工事による施設閉鎖が本年度はなかったことや、新型コロナウイルス感染症の影響による大会の中止や団体専用利用の減少により一般利用者への開放時間が増えたことなどの要因が重なったためと考えられる。

8 職員研修、その他

- ① 緊急時の対応に全スタッフが心肺蘇生法を行えるよう職員及び委託事業所従事者が心肺蘇生法講習会を受講し、「普通救命講習終了証」の認定を受けた。
- ② 県及び関係機関が開催する各種講習会又は説明会に新人スタッフを中心に派遣し、スタッフの資質向上に努めた。

令和元年度三重県営鈴鹿スポーツガーデン施設利用料収入一覧

(単位:円)

	水泳場				庭球場				サッカー・ラグビー場						体育館			合計														
	専用利用				個人利用	小計	屋外	シニター	センター	小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クラミング	小計	アリーナ		個人利用	体育館小計												
	メイン	サブ	飛込	会議室																	メイン	サブ	メイン	サブ	メイン	サブ	メイン	サブ	メイン	サブ	メイン	サブ
4月	1,638,500	610,000	489,000	340,800	1,711,750	4,790,050	1,057,800	542,000	58,400	1,658,200	0	902,320	26,700	96,060	0	1,025,080	1,040,800	307,400	1,348,200	8,821,530												
5月	827,125	445,250	255,600	265,800	2,299,350	4,093,125	1,339,100	554,400	63,900	1,957,400	176,000	808,860	45,600	99,400	0	1,129,860	1,012,500	298,270	1,310,770	8,491,155												
6月	667,750	491,750	201,000	253,900	2,417,350	4,031,750	920,300	567,000	41,700	1,529,000	340,300	577,900	31,500	239,600	7,000	1,196,300	1,230,550	279,720	1,510,270	8,267,320												
7月	901,750	504,500	195,000	252,700	2,514,250	4,368,200	1,083,750	631,600	45,300	1,760,650	476,900	724,000	30,900	158,260	0	1,390,060	1,709,600	294,670	2,004,270	9,523,180												
8月	1,037,750	381,000	184,500	296,900	3,216,050	5,116,200	1,408,800	662,000	62,700	2,133,500	169,900	1,049,980	29,100	204,600	0	1,453,580	1,840,950	267,540	2,108,490	10,811,770												
9月	600,250	601,000	210,000	221,000	2,603,750	4,236,000	1,296,600	534,800	44,000	1,875,400	48,500	689,340	35,400	72,720	7,000	852,960	1,190,630	285,410	1,476,040	8,440,400												
10月	760,250	520,000	231,000	266,500	1,891,350	3,669,100	1,143,800	524,600	40,300	1,708,700	138,700	197,600	36,300	69,200	0	441,800	1,133,140	272,450	1,405,590	7,225,190												
11月	1,122,500	580,000	276,000	355,200	1,669,750	4,003,450	1,198,800	466,800	60,900	1,726,500	372,000	223,200	26,100	158,000	0	779,300	1,181,940	244,860	1,426,800	7,936,050												
12月	923,250	291,000	201,000	237,300	1,126,450	2,779,000	1,027,600	480,600	32,900	1,541,100	35,600	360,300	28,800	43,700	0	468,400	1,081,650	231,070	1,312,720	6,101,220												
1月	740,000	385,750	132,000	524,300	1,837,800	3,619,850	975,100	498,200	73,700	1,547,000	166,300	113,400	18,300	134,800	0	432,800	1,383,950	295,710	1,679,660	7,279,310												
2月	1,164,000	438,000	405,000	258,600	1,769,850	4,035,450	962,000	448,600	31,600	1,442,200	222,500	164,600	16,800	124,500	0	528,400	816,180	259,560	1,075,740	7,081,790												
3月	491,125	0	150,000	12,800	3,982,200	4,636,125	801,800	636,800	37,900	1,476,500	0	255,200	0	29,200	5,800	290,200	657,610	2,500	660,110	7,062,935												
年合計	10,874,250	5,248,250	2,930,100	3,285,800	27,039,900	49,378,300	13,215,450	6,547,400	593,300	20,356,150	2,146,700	6,066,700	325,500	1,430,040	19,800	9,988,740	14,279,500	3,039,160	17,318,660	97,041,850												

※収入に関する特記

特記1:水泳場電光掲示板使用料はメインプールに含む

特記2:水泳場会議室使用料には冷暖房を含む

特記3:サッカー場サブグラウンド使用料には照明使用料を含む

特記4:体育館アリーナには器具使用料、照明使用料、空調使用料を含む

特記5:サッカー・ラグビー場第3グラウンド人工芝張替工事により令和元年10月1日から令和2年3月14日まで閉鎖

令和元年度三重県営鈴鹿スポーツガーデン利用人数一覧表

(単位:人)

	水泳場				庭球場				サッカー・ラグビー場							体育館			合計	
	専用利用				水泳場 小計	屋外	シエルトー	センター	庭球場 小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クライミング	サッカー場小計	アリーナ	個人 利用	体育館小計		
	メイン	サブ	飛込	会議室																庭球場 小計
4月	9,860	3,524	1,046	2,266	23,472	5,250	2,085	408	7,743	0	6,739	250	1,532	0	8,521	2,774	2,036	4,810	44,546	
5月	4,244	2,707	822	2,180	18,710	6,710	2,200	292	9,202	3,300	6,604	313	683	40	10,940	4,238	1,973	6,211	45,063	
6月	5,933	2,619	712	2,102	20,449	5,449	2,118	309	7,876	9,600	8,244	260	1,432	15	19,551	4,898	1,918	6,816	54,692	
7月	6,925	3,353	484	2,002	21,535	5,156	2,604	203	7,963	5,300	6,385	320	787	0	12,792	6,043	1,895	7,938	50,228	
8月	5,013	1,269	610	1,860	19,653	7,992	2,998	347	11,337	1,530	8,130	355	807	0	10,822	5,154	1,969	7,123	48,935	
9月	3,718	2,196	769	1,856	17,832	6,449	2,323	217	8,989	220	5,695	295	662	81	6,953	4,681	1,888	6,569	40,343	
10月	4,369	2,261	1,018	2,143	18,050	5,284	2,141	232	7,657	1,270	2,806	260	340	15	4,691	5,024	1,857	6,881	37,279	
11月	7,644	2,400	854	2,727	20,335	4,888	1,748	210	6,846	6,170	2,550	255	493	0	9,468	6,069	1,736	7,805	44,454	
12月	5,016	1,042	1,325	1,968	14,128	4,584	2,254	224	7,062	300	3,150	0	220	0	3,670	5,487	1,654	7,141	32,001	
1月	4,562	1,251	822	2,231	15,112	4,416	2,040	334	6,790	8,845	1,530	330	705	0	11,410	6,304	1,859	8,163	41,475	
2月	8,110	2,847	1,122	2,026	19,910	3,934	1,758	107	5,799	4,955	4,244	220	430	0	9,849	2,441	1,706	4,147	39,705	
3月	1,589	0	466	165	9,735	3,270	1,895	96	5,261	0	1,097	80	205	10	1,392	2,508	0	2,508	18,896	
年合計	66,983	25,469	10,050	23,526	218,921	63,382	26,164	2,979	92,525	41,490	57,174	2,938	8,296	161	110,059	55,621	20,491	76,112	497,617	

特記1:各施設の利用者数には減免利用者を含む

特記2:プール水入替及びびろ過装置ろ材交換工事(メイン:3月5日～3月25日、サブ:12月10日～12月30日、飛込:2月1日～2月27日)

総合競技場施設利用促進事業

令和元年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）事業報告

令和元年度は、第4期指定管理者の初年度であり、指定管理者の応募にあたり提案した事業計画及び三重県体育協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たすため、県民のスポーツ振興に一層寄与するとともに、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を積極的に推進した。

1 利用者の拡大・促進の取組

(1) 利用者サービスの拡充

- ① 競技場運営方針・利用目標を設け、職員一同一丸となり利用者の拡充とサービス向上に努めた。
- ② 利用者の立場に立って施設の有効利用、積極的な応対・接遇を行い業務改善・管理運営に努めた。
- ③ 利用(主催)者との大会事前打ち合わせや定期的に利用者への説明会を行い、スムーズな大会運営に努めた。
- ④ ご意見箱の設置と利用者アンケートを実施して、利用者の生の声を聞くとともに、要望や意見については、実施可能なものから取り組みを行った。
- ⑤ 陸上競技場の諸室を利用し、新たなスポーツ教室の参加者獲得に努めるとともに、各サークルに呼びかけ、クラブ化への活動支援を行った。
- ⑥ 大会の開催等や繁忙期には、休業日の積極的に開場とした。
- ⑦ 陸上競技場の補助競技場を20時30分までナイター営業を行った。また、季節に応じてナイター営業の時間を変更した。

(2) 利用促進について

- ① 定期的利用を図るため、伊勢市商工会議所・ライオンズクラブ・観光協会の企業訪問を行い加盟企業の従業員への利用及び福利厚生施設としての働きかけを行った。
- ② スポーツ教室については、ニーズの多い講座の追加、参加者の振り分け等により、109講座で実施した結果、2,109人の受講生となった。
- ③ トレーニングセンター利用者の利便性を図るため、引き続き「1ヶ月券・3ヶ月券」を発行するとともに、スポーツ教室参加者に無料券(1回券)を配布して、トレーニングセンターの体験と利用促進に努めた。

(3) 広報活動について

- ① 近隣市町への広報紙(折込みチラシ)報道機関へ利用状況及びスポーツ教室等の情報提供を行った。
- ② 行事スケジュール(競技場の主な大会一覧)を発行した。(500部×12月)
- ③ ホームページに最新の大会スケジュール及び施設予約状況を提供した。

(4) 職員の研修・視察

- ① 各種講習会・研修会に参加し、職員の資質向上に努めた。

2 主催事業について

- (1) スポーツ教室については、近年の健康管理に対する意識の高まりを受けて、前期（6月～7月）・中期（10月～12月）・後期（1月～3月）の三期に分け109講座を実施し、2,109人の参加を得た。
- (2) 第14回総合競技場感謝フェスティバルについては、近隣住民やスポーツ愛好家の方々に施設のPRと利用者への感謝等を目的として実施した。また伊勢市による三重とこわか国体・同大会PRイベントも合わせて実施した。
 - ・期 日：令和元年11月10日（日）
 - ・会 場：陸上競技場・補助競技場他 総参加者数：約4,000人
- (3) 体力測定
トレーニングセンターでは、希望者されるお客様に対しサービスの一環として文部科学省発行の体力テストを個人の目的と体力およびレベルに応じたトレーニングメニューを提供した。
- (4) 第11回三重県営総合競技場杯ミックスタブルスバドミントン団体戦
競技場の冠大会として、施設活用と競技人口の拡大を目的とした大会を実施した。
 - ・期 日：令和元年10月6日（日） 参加者：35チーム205人

3 施設管理・リスク対策について

- (1) 利用者に対し良質な施設環境を提供するため、委託業務による点検に立ち会うとともに、設備の定期点検以外に、巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (2) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制を強化した。リスク対策強化として救急講習等に参加し、職員の認識向上を図った。
- (3) 大会や自主事業開催時を想定し、伊勢市消防本部と共同で総合的な消防訓練を実施した。
- (4) テロ対策への講習会及び実施訓練講習会等に参加し、予防の仕方を体得した。また、テロ対策伊勢地区パートナーシップ「みテますキープ制度」モデル事業所として推進事業をすすめた。
- (5) 10月の台風19号による体育館地下室の浸水等の被害時には、2年前の教訓を生かした早急な対応により大きな被害を事前に防止することができた。また、その後の調査により原因をつきとめ改修することができた。

4 施設整備

- ・ 体育館周辺排水口の改修（2カ所）
- ・ 西駐車場アスファルトの修理（落雷による破損）
- ・ 多目的広場北トイレ周辺の整備
- ・ バックスタンドトイレ給水口の改修
- ・ バックスタンド雨漏りの改修
- ・ 陸上競技器具修理
- ・ 補助競技場写真判定室の改修
- ・ 台風による体育館本館地下電気機器の修理・交換
- ・ 体育館空調気圧装置の修理
- ・ 消火器取替え2本

- ・ 台風によるトレーニングセンター破風の修理
- ・ トレーニング機器の修理等
- ・ トレーニングセンターインクラインベンチの購入

5 その他

本年度も恒例の第13回美し国三重市町対抗駅伝が2月16日（日）に開催され、本競技場がゴール地点となった。14市と15町に6市のオープン参加を加えた全35チームがそれぞれの襷をつなぎ大盛況の大会となった。また、選手を激励するため、県内より多くのチーム関係者・観客が詰め掛け大いに盛り上がった。

また、陸上競技場前駐車場では県内の特産品を集めた物産市が開かれ、観客、地域住民が多く訪れ、大いに賑わいを見せた。

6 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数		H30 年度比較	利用料収入	H30 年度比較
H30 年度	競技場	390,604 人		14,283,530 円	
	体育館	115,412 人		17,992,150 円	
	トレーニングセンター	51,055 人		9,861,680 円	
	合 計	557,071 人		42,137,360 円	
R 元年度	競技場	241,965 人	△148,639 人	11,485,697 円	△2,797,833 円
	体育館	93,096 人	△22,316 人	16,776,000 円	△1,216,150 円
	トレーニングセンター	45,550 人	△5,505 人	8,667,290 円	△1,194,390 円
	合 計	380,611 人	△176,460 人	36,928,987 円	△5,208,373 円

◎ 総合競技場の利用増減収説明

平成30年度は、全国高等学校総合体育大会（インターハイ）があり、本年度と比較すると利用者数・収益ともに減となった。年度末には新型コロナウイルスの影響で3月に予定していた大会・強化合宿等がキャンセルになりさらに大きな影響を受けた。

体育館についても、年度末の新型コロナウイルスの影響により4つの大きな大会のキャンセルが減収の原因となった。

トレーニングセンターは、2月までは目標通りの数値であったが、新型コロナウイルスの影響で3月1日より閉館の措置をとったため、減収となっている。

令和元年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場) 利用人数一覧表

(単位:人)

	陸上競技場					体育館				トレーニングセンター	合計	
	陸上競技場	投てき場	補助競技場	多目的広場	会議室	小計	本館	別館	会議室			小計
4月	4,317	263	7,495	75	1,806	13,956	2,910	1,805	253	4,968	3,966	22,890
5月	1,442	531	11,017	1,076	2,503	16,569	4,290	2,119	206	6,615	4,138	27,322
6月	19,027	376	5,771	290	3,141	28,605	8,112	2,497	320	10,929	4,347	43,881
7月	22,917	11	7,511	462	3,658	34,559	7,967	2,139	310	10,416	4,781	49,756
8月	14,064	1,075	13,769	1,254	2,226	32,388	11,115	2,817	323	14,255	4,414	51,057
9月	9,132	208	8,262	1,361	3,345	22,308	6,261	2,547	260	9,068	4,298	35,674
10月	12,000	303	5,551	8,520	2,964	29,338	4,149	1,740	162	6,051	4,353	39,742
11月	8,120	117	2,947	120	3,786	15,090	6,857	2,440	335	9,632	3,925	28,647
12月	1,952	570	3,867	809	2,261	9,459	4,129	2,227	215	6,571	3,628	19,658
1月	530	308	1,497	110	2,147	4,592	2,459	1,267	15	3,741	3,681	12,014
2月	25,600	160	2,039	309	2,755	30,863	4,577	2,691	230	7,498	4,019	42,380
3月	31	74	3,544	166	423	4,238	1,856	1,471	25	3,352	0	7,590
合計	119,132	3,996	73,270	14,552	31,015	241,965	64,682	25,760	2,654	93,096	45,550	380,611

令和元年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場) 施設使用料一覧表

(単位:円)

	陸上競技場					体育館				トレーニングセンター	合計	
	陸上競技場	投てき場	補助競技場	多目的広場	会議室	小計	本館	別館	会議室			小計
4月	256,630	22,030	490,410	5,000	420,200	1,194,270	733,170	352,680	234,560	1,320,410	757,720	3,272,400
5月	169,350	27,250	656,650	40,000	33,000	926,250	798,510	446,180	72,770	1,317,460	838,930	3,082,640
6月	785,960	19,460	265,910	5,000	90,800	1,167,130	890,690	317,640	90,300	1,298,630	803,800	3,269,560
7月	1,023,000	2,350	382,790	34,000	384,700	1,826,840	1,641,610	554,070	107,940	2,303,620	930,190	5,060,650
8月	438,480	82,690	473,870	39,020	326,900	1,360,960	1,995,370	660,790	153,820	2,809,980	875,230	5,046,170
9月	523,460	21,650	505,040	135,897	263,200	1,449,247	965,670	483,390	26,370	1,475,430	799,680	3,724,357
10月	274,360	10,540	142,940	15,000	71,800	514,640	602,350	310,760	41,760	954,870	802,880	2,272,390
11月	144,100	10,520	141,310	5,000	595,600	896,530	703,150	367,080	104,580	1,174,810	739,410	2,810,750
12月	169,520	34,560	173,310	35,000	254,500	666,890	817,540	373,970	45,690	1,237,200	604,120	2,508,210
1月	151,480	16,350	135,610	12,700	153,300	469,440	597,370	247,110	1,890	846,370	742,680	2,058,490
2月	104,060	15,110	109,090	20,000	182,800	431,060	672,620	432,500	78,550	1,183,670	772,650	2,387,380
3月	8,320	12,820	471,300	37,000	53,000	582,440	452,990	398,040	2,520	853,550	0	1,435,990
合計	4,048,720	275,330	3,948,230	383,617	2,829,800	11,485,697	10,871,040	4,944,210	960,750	16,776,000	8,667,290	36,928,987

鈴鹿青少年センター施設利用促進事業 令和元年度 三重県立鈴鹿青少年センター事業報告

令和元年度は、第4期指定管理者の2年目にあたり、指定管理者で提案した事業計画に則り、社会教育施設としての役割を果たすため、各種事業に取り組み、かつ、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を実施した。

なお2月以降に新型コロナウイルス感染症の感染防止を目的とした利用団体のキャンセルが相次いだため受入事業の実績が前年度を大幅に下回った。

1 受入事業

・利用状況（※は指定管理者評価項目）

延利用人数 65,927 人（前年度△8,311 人）※目標値：73,300 人

一日研修利用人数 15,491 人（前年度比△2,982 人）

延宿泊人数 25,879 人（前年度比△5,588 人）

定員稼働率 22.19% ※目標値：26.5%

団体数 852 団体（前年度△91 団体）

2 利用者の拡大・促進

（1）利用者サービスの充実

- ① 鈴鹿青少年センター運営方針・利用目標を設けて、利用者サービス拡大に努めた。
- ② 繁忙期及び利用団体に応じて休業日の営業（4月～8月）を行った。
- ③ 利用者アンケートに基づく施設改修のハード整備を実施。また、対応可能な箇所から改善を行いサービスの向上に努めた。
- ④ 出前事業や体験活動サポート事業に職員を講師として派遣し、体験活動の場を提供しながら、施設と伝統産業のPR等を行った。

（2）広報及び利用促進活動について

- ① 各種事業とイベントについて、市内を中心とした広報紙に情報提供を行った。（スキップ、きらきら等）
- ② 各種主催事業チラシを独自で作成し、市内小中学校、各市町教育委員会、近隣コミュニティセンター及び鈴鹿、津、四日市の県庁舎へ設置や配布依頼を行うとともに、県政記者クラブへも資料提供を行った。
- ③ 近隣市町広報紙への主催事業募集掲載を行った。（鈴鹿市・亀山市）
- ④ 関係団体が開催するイベントに体験ブースを出展し、施設と伝統産業のPRを行った。
- ⑤ 当施設のホームページで事業やイベント案内に加え、ブログを通じて主催事業などの活動報告の情報を発信した。
- ⑥ 鈴鹿市及び津市教育委員会を通じ、両市の小中学校校長会への施設利用依頼を行った。
- ⑦ 東海3県の競技団体へ文書により施設利用依頼を行った。
- ⑧ 県立高等学校、特別支援学校及び地元の事業所へ文書により施設利用依頼を行なった。

（3）職員研修

東海北陸地区青少年教育施設協議会運営研究大会へ参加した。

（4）その他

①三重まるごと自然体験ネットワークへの参画

平成28年に設立された「三重まるごと自然体験ネットワーク」へ参画し、青少年センターで実施可能な体験活動の情報の入手や主催事業時に所外で活動するプログラムの情報を入手できる体制を確保した。

②県教委事務局社会実験への協力

鈴鹿青少年の森公園及び当センターの利活用策の検証を目的とする社会実験であるマルみえフェスタ、ジャパンコーヒーフェスティバルの出展者の施設利用対応など協力した。

3 主催事業

新型コロナウイルス感染防止のため、2月下旬以降実施予定の主催事業は中止した。

(1) 創作活動事業

- ① 実施期日：年間随時
- ② 参加人数：3,927人
- ③ 内 容：センター利用者の希望に応じて、伊勢型紙や焼き杉などの活動支援を行った。

(2) 親子アウトドア体験

- ① 実施期日：令和元年5月26日（日）
- ② 参加人数：36人
- ③ 内 容：親子で災害時にも役立つ野外活動を体験した。午前に空き缶を利用したアウトドアクッキングを、午後に防災クイズや消火器体験などの防災教室を行なった。

(3) キッズチャレンジスポーツ【前期・後期】

- ① 実施期日：令和元年5月22日～2年2月26日【全24回】
※3月は新型コロナウイルス感染防止のため中止。
- ② 延べ参加人数：475人
- ③ 内 容：小学生を対象に、地元のハンドボールチームである三重バイオレットアイリスの協力を得て、毎回2時間程度ハンドボールの実技を体験した。

(4) 4校交流宿泊事業

- ① 実施期日：令和元年7月1日（月）～2日（火）
- ② 参加人数：148人
- ③ 内 容：鈴鹿市内の4小学校を対象とした宿泊研修を行い、他校の子どもたちと協力して集団として活動することを学ぶ機会を提供した。

(5) 単級学級交流会

- ① 実施期日：令和元年7月3日（水）～4日（木）
- ② 参加人数：138人
- ③ 内 容：単級学級校を対象とした合同集団宿泊学習として実施し、他校の生徒とコミュニケーションを図ることをとおして社会性などを身につける場を提供した。

(6) 異世代交流事業

- ① 実施期日：令和元年7月29日（月）
- ② 参加人数：26人
- ③ 内 容：鈴鹿市環境政策課と共催で、小学生とその父母や祖父母がともに環境問題について考える「楽しく学ぼう！親子環境教室」を実施した。地球温暖化防止啓発ビデオ上映、自然素材を使った木工クラフトを体験した。

(7) 野外活動体験研修

- ① 実施期日：令和元年8月6日（火）
- ② 参加人数：5人
- ③ 内 容：野外活動の体験研修をすることで指導者の育成に取り組むとともに、当センターの主催事業をサポートするボランティアを育成するための研修を行なった。

(8) レッツ・チャレンジ2019

- ① 実施期日：令和元年8月21日（水）～24日（土）、11月17日（日）
- ② 延べ参加人数：61人

- ③ 内 容：自然の中で年齢の異なる子どもたちが共同生活をしながらいろいろな体験活動にチャレンジすることで自然の素晴らしさを知り、自然に対する理解や愛情を育てることを目的としたロングキャンプを開催した。11月には同じ参加者を対象として熊野古道馬瀬峠の登山に挑戦し、仲間と協力し合って登山をやりとげる体験をした。

(9) 子ども体験遊びリンピック in みえ

- ① 実施期日：令和元年10月6日（日）
② 参加人数：150人
③ 内 容：三重県青少年施設協議会に加盟する3施設の合同イベントとして、国立青少年教育振興機構の実施する「体験活動月間」にあわせて競技性のある体験イベントを開催した。

(10) 絆キャンプ

- ① 実施期日：令和元年10月8日（火）～9日（水）
② 参加人数：7人
③ 内 容：桑名適応指導教室に参加する子どもたちを対象とした宿泊研修を共同で開催し、運営をサポートした。

(11) 親子サバイバルキャンプ

- ① 実施期日：令和元年10月26日（土）～27日（日）
② 参加人数：46人
③ 内 容：親子で1泊2日のテント泊などのサバイバル活動を行なって、自然の中での活動での成功体験や親子の絆を深める活動を行なった。

(12) 大人の学校シリーズ I

- ① そば打ち講座
ア. 実施期日：令和元年10月29日（火）
イ. 参加人数：26人
ウ. 内 容：そば粉から手打ちそばを作成し出来たてのそばを食べる講座として開催し、参加者の交流の場を提供した。
- ② ウォーキング講座
ア. 実施期日：令和元年10月31日（木）、11月7日（木）
イ. 延べ参加人数：30人
ウ. 内 容：誰でも気軽に参加できるウォーキングを体験し、正しい姿勢で歩くことの効用を理解して、ウォーキングの習慣化に挑む体験をした。

(13) ウィンターアドベンチャー

- ① 実施期日：令和元年12月7日（土）～8日（日）
② 参加人数：48人
③ 内 容：小学校4年生から中学校2年生を対象に、スタッフのサポートを受けながら様々な体験活動を行い、協調性や自主性を育成する機会を提供した。

(14) わくわくファミリーキャンプ

- ① 実施期日：令和2年1月11日（土）～12日（日）
② 参加人数：42人
③ 内 容：小学生、中学生とその保護者を対象に、親子で行なう創作活動や野外炊飯等を体験して家族や参加者が協力して目的を達成する経験をした。

(15) おもしろ自然科学教室

- ① 実施期日：令和2年1月18日（土）、25日（土）、2月1日（土）
② 延べ参加人数：56人

- ③ 内 容：毎回違うテーマに基づいた実験や科学の原理を用いた製品づくりをすることで科学に興味のある子どもの育成を図った。

(16) 大人の学校シリーズⅡ

① そば打ち講座

ア. 実施期日：令和2年2月4日（火）、2月7日（金）

イ. 延べ参加人数：41人

ウ. 内 容：そば粉から手打ちそばを作成し出来たてのそばを食べる講座として開催し、参加者の交流の場を提供した。

② 篆刻と水墨画講座

ア. 実施期日：令和2年2月6日（木）、13日（木）

イ. 延べ参加人数：40人

ウ. 内 容：成人対象の講座として、篆刻を字体からデザインし作成するのとあわせて簡単な水墨画を描く体験をした。

(17) 出前・イベント出展等

① 体験活動サポート事業

依頼を受けて職員を派遣し、創作活動の出前事業を行った。

ア. 津市立修成小学校

実施期日：令和元年6月11日（火）

体験人数：64人

イ. 鈴鹿市立鈴峰中学校

実施期日：令和元年10月29日（火）

体験人数：30人

ウ. 御幸地区まちづくり協議会

実施期日：令和元年11月10日（日）

体験人数：59人

② 各種イベント出展及び体験活動サポート以外の出前講座

ア. 春のわくわくふれあい祭り

実施期日：平成31年4月21日（日）

体験人数：172人

内 容：四日市少年自然の家及び周辺施設が開催するイベントへ出展し、体験活動の場を提供した。

イ. 秋のわくわくふれあい祭り

実施期日：令和元年9月28日（土）

体験人数：200人

内 容：四日市少年自然の家及び周辺施設が開催するイベントへ出展し、体験活動の場を提供した。

ウ. 四日市市少年自然の家オープンデー

実施期日：令和2年2月16日（日）

体験人数：70人

内 容：四日市少年自然の家及び周辺施設が開催するイベントへ出展し、体験活動の場を提供した。

4 施設整備

独自整備分（250万円以上の修繕や長期整備で要望している整備の部分実施等）

- ①総合研修館棟エントランス屋根防水劣化箇所修繕
- ②大浴場給湯配管漏水修繕

5 利用人数及び利用料収入

年度	利用人数			年度	利用人数			前年度比較
平成 三十年 度	施設利用人数			令和 元 年 度	施設利用人数			
	宿泊研修 (A)	延宿泊者数	31,467 人		宿泊研修 (A)	延宿泊者数	25,881 人	▲5,586 人
		日帰り等 ^{※1}	24,298 人			日帰り等 ^{※1}	24,555 人	257 人
		計	55,765 人			計	50,436 人	▲5,329 人
	一日研修(B)		18,473 人		一日研修(B)		15,491 人	▲2,982 人
	利用者数(A)+(B)		74,238 人		利用者数(A)+(B)		65,927 人	▲8,311 人
	項目		利用料金		項目		利用料金	
	宿泊料		41,245,280 円		宿泊料		30,975,172 円	▲10,270,108 円
	研修室利用料(宿泊)		1,728,015 円		研修室利用料(宿泊)		1,840,378 円	112,363 円
	研修室利用料(日帰り)		1,899,638 円		研修室利用料(日帰り)		1,808,390 円	▲91,248 円
設備器具利用料		566,300 円	設備器具利用料		680,500 円	114,200 円		
合計		45,439,233 円	合計		35,304,440 円	▲10,134,793 円		

※1 宿泊利用団体の最終日利用人数及び日帰り利用人数の合計

◎施設利用増減説明

新型コロナウイルス感染症の影響により、2月以降予約のキャンセルが多発し、宿泊研修・一日研修ともに利用者数が大きく減少した。その結果として施設利用料金は前年度より1千万円以上の減額になった。

令和元年度 鈴鹿青少年センター施設利用状況一覧表

月	開所 日数	宿泊可 能日 数	利用 日数	施設稼働率	利用団体数	延宿泊者数	宿泊利用率	延利用者数	施設利用率	内1日研修
4月	30	29	30	100.0	63	3,961	37.1	8,182	74.1	897
5月	31	29	27	87.1	72	2,854	26.7	6,134	53.8	886
6月	30	29	30	100.0	81	2,772	26.0	6,999	63.4	1,318
7月	31	28	30	96.8	112	4,103	39.8	9,039	79.2	863
8月	31	30	31	100.0	117	4,967	45.0	9,592	84.1	993
9月	29	26	27	93.1	76	1,935	20.2	5,268	49.4	1,136
10月	30	26	30	100.0	79	2,184	22.8	5,326	48.2	1,605
11月	29	26	25	86.2	60	920	9.6	5,760	54.0	2,444
12月	27	24	23	85.2	58	1,349	15.3	4,859	48.9	2,206
1月	27	16	23	85.2	56	524	8.9	2,317	23.3	1,295
2月	28	25	23	82.1	50	267	2.9	1,901	18.4	1,405
3月	30	29	15	50.0	28	45	0.4	550	5.0	443
合計	353	317	314	*	852	25,881	*	65,927	*	15,491
平均	29.4		26.2	92.9	71.0	2,156.8	22.2	5,494	50.2	1,290.9

令和元年度 鈴鹿青少年センター利用人数及び利用料金統計表

月	延利用人数	延宿泊人数	利 用 料 金								利用料金 合計
			施 設 利 用 料 金						設備器具		
			宿泊を伴う場合				宿 泊 を 伴 わ な い 場 合				
			宿泊利用	総合研修館	大研修室	研修室・OR室 文化室 創作室	総合研修館	大研修室		研修室・OR室 文化室 創作室	
4月	8,182	3,961	5,513,260	21,620	21,720	99,000	46,420	19,420	54,000	11,200	5,786,640
5月	6,134	2,854	3,501,510	32,220	24,740	29,700	24,414	25,530	55,090	27,000	3,720,204
6月	6,999	2,772	2,191,600	22,540	5,770	46,440	63,810	55,490	144,880	61,800	2,592,330
7月	9,039	4,103	3,843,830	49,680	59,930	205,920	28,670	11,090	78,090	143,600	4,420,810
8月	9,592	4,967	7,046,916	91,540	63,790	303,120	44,400	40,490	176,270	243,400	8,009,926
9月	5,268	1,935	2,241,680	54,280	39,320	63,360	58,460	8,310	81,370	104,000	2,650,780
10月	5,326	2,184	3,236,910	23,460	10,170	84,060	98,050	38,830	78,080	25,600	3,595,160
11月	5,760	920	1,096,534	7,360	14,020	32,220	68,450	16,630	72,600	9,000	1,316,814
12月	4,859	1,349	1,457,830	17,480	16,220	50,580	60,120	26,620	106,920	39,500	1,775,270
1月	2,317	524	546,640	9,200	12,650	66,240	53,650	41,600	73,330	11,000	814,310
2月	1,901	267	259,612	12,880	0	50,724	32,370	33,840	90,480	2,200	482,106
3月	550	45	38,850	3,220	9,900	0	42,520	12,750	30,650	2,200	140,090
合計	65,927	25,881	30,975,172	345,480	278,230	1,031,364	621,334	330,600	1,041,760	680,500	35,304,440

スポーツマンハウス施設利用促進事業

令和元年度 スポーツマンハウス鈴鹿 事業報告

令和3年に本県で開催される、第76回国民体育大会（三重とこわか国体）、第21回全国障害者スポーツ大会（三重とこわか大会）へ向け、本協会が責任を持って全国から本県に集うトップアスリートへのおもてなしにあたるため、平成29年度までは民間事業者に委託していた本施設の運営について、平成30年4月21日より本協会直営に転換した。

令和元年度は直営化して2年目となり、運営形態の変更に伴い一時混乱していた宿泊受け入れ業務についても一定の軌道に乗り、第1四半期（4～6月）における宿泊実績の対前年度比は、宿泊人数で約120～150%、売り上げで約135～165%と比較的好調に推移した。

第2四半期（7～9月）においては、前年度同期のインターハイ特需の反動により、対前年度比は、宿泊人数で約45～95%、売り上げで約40～80%という結果となった。

第3四半期（10～12月）においては、一部、台風等の影響もあったものの、対前年度比は、宿泊人数で約80～120%、売り上げで約90～135%であり、増減相半ばとなった。

第4四半期（1月～3月）においては、1月の英国パラ水泳ナショナルチーム長期合宿により、対前年度比が宿泊人数で約250%、売り上げで約380%という特需となったが、2月頃より徐々に新型コロナウイルス感染症の発生に伴う影響が出始め、3月にはほとんどの予約がキャンセルされるという事態に陥った。

1 利用の拡大・促進の取組

リピーターの確保と新規利用者のアクセシビリティ拡大のため、利用者サービスの向上と利用促進活動に努めた。

(1) 利用促進活動

- ・スポーツ合宿利用の隙間を埋めるインターネット予約について柔軟に対応した。
- ・クレジットカード決済については、前年度に引き続き当面インターネット予約者に限って対応した。
- ・前年度に引き続き、インターネット利用者の声を含め、施設に寄せられる意見・苦情に対応した。
- ・オリパラ2020へ向けた事前合宿（英国パラ水泳ナショナルチーム、カナダ・アーティスティックスイミング）の招致に伴い、招致主体（三重県）や競技団体、支援事業者（旅行会社）等との調整を行ない、円滑な実施へ向けた支援体制を整えた。
- ・前年度の試行に引き続き、三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（以下、「鈴鹿スポーツガーデン」という。）との連携により、最寄りのバス停留所である「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿ぐち」から鈴鹿スポーツガーデン敷地内へ、本協会独自の無料シャトルバスを本格運用し、利用者の利便性向上に努めた。

(2) 利用促進活動

- ・例年利用されるスポーツ団体等に対し、DM等により次年度利用を働きかけた。
- ・合宿、教育旅行等を取り扱う旅行者へのあっせん依頼を強化した。
- ・鈴鹿スポーツガーデンと連携し、同施設利用者に対する本施設のPRを行った。

- ・企業の福利厚生活動の一環として、各企業、団体の労働組合、互助会等と提携し、施設利用の拡大を図った。
- ・鈴鹿スポーツガーデンと連携して、FM三重でスポットCMを放送した。
- ・地元地域を中心としたフリーペーパーを活用したPRを行った。

2 諸会議の開催

職員間の情報共有と営業方針検討のための月例ミーティングの他、鈴鹿スポーツガーデン並びに食堂・清掃・施設管理等委託先事業者との打ち合わせを下記により実施した。

(1) スポーツマンハウス鈴鹿月例ミーティング

原則として毎月第1月曜日午後、フロントスタッフ全員により、スケジュール、経営状況、販売促進方針、その他について意見交換し、共有するための月例ミーティングを開催した。

(2) 鈴鹿スポーツガーデンとの打ち合わせ

両施設の販売促進のため、随時打ち合わせ（合宿パックの検討、施設と宿泊の予約コンフリクトの解消等）を実施した。

(3) 食堂・清掃・施設管理等委託先事業者との打ち合わせ

利用者へのスムーズなサービス提供を目的に、随時打ち合わせを行なった。

(4) 近隣地域関係者との意見交換会

鈴鹿スポーツガーデンを含めた利用促進等に関する意見交換を行った。

3 施設管理

(1) 日常点検

良質・安全かつ清潔な施設提供のため、職員と施設管理委託先が協働して、日常の清掃・点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設・機器の使用中止の対応を取り、異常個所の点検と必要な修理を速やかに実施した。

(2) 定期点検

専門事業者に委託し、定期的にエレベーター、温浴関係、空調関係の機器点検を行うと同時に、空気・水質等の環境点検を実施した。

(3) 一斉点検日（休業日）の設定

温浴の浄化槽・配管等は、半年間に一度専門事業者の点検・清掃を実施した。また、宿泊棟・食堂棟の機器設備類については、温浴休業日と合わせて全館休業日とし、設備の集中点検を行った。

4 リスクマネジメント

(1) 危機管理マニュアルの更新

既存の危機管理マニュアル（火災、地震、台風、不審者、個人情報漏えい、全国瞬時警報システム（J-ALERT）、弾道ミサイル発射時の対応等）に、感染症対策を加えるべく検討中。（令和2年度早期に完成予定）

(2) 危機管理訓練

鈴鹿市消防本部と連携のうえ、消防連絡訓練を実施した。（2019年12月12日）

5 施設整備

営業開始後 10 年が経過し、改修・交換が必要な設備も増加してきており、優先順位を定めて施設・設備の更新を進めた。

(1) 法的義務やメーカー推奨の機器交換サイクルを満たすための施設・設備更新

- ・エレベータープーリー交換 [1,068 千円]
- ・ガス供給設備（低圧遮断弁）更新 [575 千円]
- ・屋内消火栓ホース及び消火器更新 [331 千円]

(2) 利用者の安全・安心に直結する設備・備品のリニューアル

- ・男子サウナ室改修 [880 千円]
- ・屋外看板更新 [286 千円]
- ・和室エアコン更新 [765 千円]

6 利用人数及び利用料収入

平成 30 年度は 4 月 21 日～3 月 31 日の実績、令和元年度は通年実績である。

(1) 宿泊

区分		平成 30 年度	令和元年度	前年度比
宿泊 人 数	スポーツ	9,856 人	9,283 人	▲573 人
	一般	2,307 人	2,610 人	303 人
	インターネット	761 人	1,645 人	884 人
	計	12,924 人	13,538 人	614 人
売上高		63,214,180 円	66,792,662 円	3,578,482 円

(2) 飲食

区分		平成 30 年度	令和元年度	前年度比
朝食	人数	10,449 人	10,233 人	▲216 人
	売上高	8,747,280 円	9,079,750 円	332,470 円
昼食	人数	11,153 人	10,390 人	▲763 人
	売上高	12,984,700 円	11,915,300 円	▲1,069,400 円
夕食	人数	8,725 人	9,304 人	579 人
	売上高	15,669,680 円	16,505,600 円	835,920 円
弁当	個数	3,755 人	8,324 個	4,569 個
	売上高	2,518,400 円	4,959,350 円	2,440,950 円
宴会	件数	351 人	202 人	▲149 人
	売上高	1,467,450 円	906,450 円	▲561,000 円
売上高計		41,387,510 円	43,366,450 円	1,978,940 円

(3) 温浴

区分		平成30年度	令和元年度	前年度比
大人	人数	51,624人	56,833人	5,209人
	売上高	26,381,150円	29,119,750円	2,738,600円
小人	人数	5,655人	6,061人	406人
	売上高	1,614,900円	1,733,600円	118,700円
回数	人数	26,865人	29,777人	2,912人
	売上高	13,722,500円	15,378,000円	1,655,500円
その他	人数	2,885人	3,476人	591人
	売上高	1,616,590円	1,689,990円	73,400円
計	人数	87,029人	96,147人	9,118人
	売上高	43,335,140円	47,921,340円	4,586,200円

(4) 会議室

区分	平成30年度	令和元年度	前年度比
件数	247件	226件	21件
売上高	2,131,800円	3,078,800円	947,000円

(5) その他

区分	平成30年度	令和元年度	前年度比
売上高	4,628,373円	5,458,439円	830,066円

(6) 総売上

区分	平成30年度	令和元年度	前年度比
売上高	154,697,003円	166,617,691円	11,920,688円

7 職員研修、その他

(1) 就労環境の整備

月例ミーティング等における意見交換、シフト勤務の公平化等による職員の就労環境の整備に努めた。

(2) 普通救命講習

緊急時の対応に全スタッフが心肺蘇生法を行なえるよう、定期的に心肺蘇生法講習会を受講し、「普通救命講習修了書」の認定を受けている。

令和元年度 スポーツマンハウス鈴鹿施設利用状況一覧表

	宿泊施設 (人)	温浴施設 (人)	会議室 件数	食 事							宴会 人数
				レストラン(人)				計	弁 個数	宴 人数	
				朝食	昼食	夕食					
4月	1,731	8,403	22	1,136	1,061	1,011	3,208	1,774	27		
5月	1,212	8,243	18	733	980	639	2,352	359	44		
6月	960	7,250	30	868	918	829	2,615	613	15		
7月	1,111	7,292	22	475	825	690	1,990	647	0		
8月	2,209	8,341	24	1,579	950	1,631	4,160	2,034	67		
9月	350	6,942	13	284	808	239	1,331	182	0		
10月	906	7,112	9	228	832	86	1,146	77	0		
11月	1,081	7,912	23	641	764	659	2,064	539	0		
12月	1,773	9,402	15	1,431	1,145	1,679	4,255	582	0		
1月	1,089	9,619	22	919	1,140	895	2,954	657	0		
2月	952	8,754	20	840	821	812	2,473	703	49		
3月	164	6,877	8	53	146	134	333	157	0		
計	13,538	96,147	226	9,187	10,390	9,304	28,881	8,324	202		
平成30年度 計	12,924	87,029	247	10,449	11,533	8,725	30,707	3,755	351		
平成30年度 比較	614	9,118	△ 21	△ 1,262	△ 1,143	579	△ 1,826	4,569	△ 149		

松阪野球場施設利用促進事業

令和元年度 三重県営松阪野球場事業報告

令和元年度は、第4期指定管理者の初年度にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が制定した「スポーツ振興計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たすとともに、健全な施設運営と県民総スポーツの振興に一層寄与するため、下記の諸事業を実施した。

1 利用者の拡大・促進

(1) 利用者サービスの向上

- ① 各種大会の円滑な運営を支援するため、本来の開館時間前の開場(特別開場)を行うとともに、一般開放を可能な限り行えるよう、利用団体による利用調整会議を開催し、利用調整を図った。
- ② アンケートを実施し、施設運営や設備について意見集約を行った。その中で、速やかに対応できるものについては実行し、施設設備の改修など施設内で対応できない要望などについては、県へ報告し、情報の共有を行った。
- ③ 大会等のスムーズな運営を支援するため、大会規模に応じて利用時間を前倒し、あるいは日没まで時間延長を行った。また雨天順延による大会予備日などは休業日開場(特別開場)で対応を行った。
- ④ 良好な球場環境を保つため、独自財源を用いて、本部席の放送設備を更新、両ベンチ扉の蝶番調整及びドアクローザー交換を行うとともに、職員で外野後方のフェンス修理、グラウンドに発生した溝修復などを行い、より良い環境でプレー出来るよう、グラウンド整備を行った。
- ⑤ 中部台運動公園利用者への利便性の向上のため、野球場のトイレを休業日以外は常時開放した。
- ⑥ オンライン予約システムにより、県内外の球場利用者への利便を図った。

(2) 利用促進

- ① 平日の施設利用拡充のため、近隣中学校の放課後のクラブ活動(野球部)に対して、利用料と利用時間の便宜を図り、利用拡大に努めた。
- ② 野球場以外の球場利用拡大策として、「まつさかペットボトルロケット大会」の利用を認め、利用拡大に努めた。
- ③ 野球場の在り方について、県高野連や利用団体関係者と意見交換を行った。

(3) 広報活動

- ① 当野球場ホームページにより、オンラインでの予約や空き状況などの情報を発信した。利用者への広報活動の一つとして、パンフレットを窓口配布や利用料金精算時に利用者へ直接配布した。
- ② 毎月中旬に、翌月の利用予定を地元新聞社へ情報提供を行った。
- ③ 当野球場で行われた大会結果を野球場ホームページに掲載し、利用状況のPRに努めた。
- ④ 第5回スポーツレクリエーションフェスティバル2020 in 松阪野球場のPRのため、新聞折り込みチラシにより周知を図った。(新型コロナウイルス感染症対策のため中止)

2 主催事業

- ① 第5回県営松阪野球場杯松阪地区中学校野球選手権大会
松阪地区管内中体連の協力を得て、第5回県営松阪野球場杯松阪地区中学校野球選手権大会を開催した。
期 日：令和元年8月17日(土)・18日(日)・22日(木)
参加者：松阪地区管内中学校野球部15校参加(780人)
- ② スポーツレクリエーションフェスティバル2020 in 松阪野球場
県民・市民の皆さんに野球場を知ってもらおうと共に、子どもの体力増進と健康意識を高め、スポーツの楽しさを体験してもらうことを目的として開催を準備していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。
期 日：令和2年3月8日(日)
対 象：幼児から大人(家族)

3 施設管理・リスク対策

- (1) 中部台運動公園内に位置する当球場は、円滑な施設運営を行うため、同公園を管理する松阪市との連携が不可欠であり、常に公園全体の課題や日常業務の諸問題について、情報を共有し、安全な施設運営に取り組んだ。
- (2) 野球場を利用者する方々に良質な施設環境を提供するため、業務委託の業者点検への立ち会いと設備の定期点検をはじめ、職員の巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (3) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制の徹底を行った。
- (4) 設備の小修繕等については、地元のシルバー人材センターに登録している方々を活用し、雇用の促進と高齢者の活用を図った。
- (5) 昨今の天候急変による施設利用者の被害を未然に防止するため、特に夏季における雷注意報発令時については、利用団体への情報提供を速やかに行い、注意報発令時には施設内に退避を促すなど事故防止に努めた。また、冬季などには、気温低下による肉離れ等の事故・ケガ防止に努めるよう利用者へ注意喚起を行った。
- (6) 応急処置用の常備薬・救急用品の点検・不足品は補充を行った。
- (7) 経年によるグラウンド整備器具等の更新・補充を行った。

4 施設整備

- ・不陸修正(6月及び2月)の実施
- ・放送設備保守点検
- ・放送設備の更新(独自財源)
- ・スコアボード保守点検
- ・浄化槽・消防設備保守点検
- ・消防設備機器不良箇所等修理(独自財源)
- ・両ベンチドアの蝶番調整及びドアクローザー交換(独自財源)
- ・外周のフェンス修繕(職員対応)
- ・外野後方の側溝への落葉等落下防止用竹の設置(職員対応)
- ・ポンプ室の点検及び配管修理
- ・玄関天井の修復(独自財源)
- ・救護室へ防火タイプの衝立整備(独自財源)
- ・その他メインスタンドベンチの修理など

5 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数		前年度比較	施設利用料収入	前年度比較
平成30年度	野球場	38,420人		1,332,660円	
	合計	38,420人		1,332,660円	
令和元年度	野球場	50,970人	12,550人	1,635,210円	302,550円
	合計	50,970人	12,550人	1,635,210円	302,550円

○ 施設利用者数・使用料の増減について

施設利用者数は、毎年、主催大会開催の有無や、高校野球(硬式)の対戦カードなどで入込者数が変動するが、令和元年度は、高校野球(硬式)の春夏秋の三大会全て決勝戦まで当球場で行われたため、新型コロナウイルス感染症の影響によるフェスタの開催中止や施設利用のキャンセルの影響を受けながらも、最終的に12,550人(うち、高校野球による増:15,560人)の大幅増となった。

また、施設利用料収入でも、入場料を徴収する高校野球(硬式)の利用回数、利用時間が増えたことで、302,550円(うち、高校野球による増:416,640円)の大幅増となった。

令和元年度三重県営松阪野球場利用一覧

三重県営松阪野球場		
月	利用人数	利用料金
4月	7,832人	298,890円
5月	2,171人	82,550円
6月	300人	19,840円
7月	22,890人	535,680円
8月	3,085人	91,940円
9月	7,520人	315,300円
10月	1,380人	15,580円
11月	1,480人	47,120円
12月	910人	49,080円
1月	1,760人	45,880円
2月	740人	44,060円
3月	902人	89,290円
年合計	50,970人	1,635,210円

特記1:施設の利用者数には減免利用者を含む